

学会発表報告書

理学研究科 高分子科学専攻 高分子反応化学研究室 M2 花崎友昭

学会名

第58回錯体化学討論会（金沢大学角間キャンパス 9月20日～22日）

私は9月20日から22日までの間、金沢大学で行われた第58回錯体化学討論会に口頭発表で参加させていただきました。今回は、15分の長い発表であり、かなり不安がありました。聞いてくださった方々にも興味を持っていただけるなど、有意義な発表になったと思います。

また今回の学会で、錯体化学と呼ばれる部門が非常に研究が盛んであり、また自分の扱っているルテニウム錯体においても様々な使用方法があることを知りました。同じ錯体を扱っていても、その見方や目的などを考えるとたくさんの使い道があり、錯体化学の幅広さ、そして将来の化学において重要な役割を果たすであろうことを感じました。

最後になりましたが、このような機会を与えてくださった方々、インテグレートッド大学院理学教育プログラム、そして研究発表を支援してくださった方々に感謝いたします。